

2021年度 聖ヤコブ幼稚園 学校評価結果公表シート

学校法人日本聖公会三重学園
聖ヤコブ幼稚園

1. 園の教育目標

本園は、学校教育法及び教育基本法の基づきながらキリスト教(日本聖公会)の根本の教えである「愛」の精神をもって、一人一人をかけがえのない存在として大切にし、成長してゆく幼児に人生の早期から宗教的情操を与えることによって心身の発達を援助し、健全な人格の形成、愛情豊かな子どもに育つよう教育したいと思っています。愛された子どもは、人を愛することができます。また、子ども自身が持っている創造性や興味を、遊びを通して引き出し、自己表現や人とのかかわりを体験的に学びながら、人間としての基本的なことを、身につけてゆくものです。そのため本園では、「遊び」というものを大切な「学習の場」と考えています。「程よい抵抗」を与えながら「遊び」を通して成長してほしいと願っています。

教育理念

「キリスト教の愛の精神をもって、一人一人を大切にし、愛情豊かな子に育てる教育につとめてゆく」ことを教育理念とした保育を行っています。

- ・ 神様の愛を知る子ども
- ・ のびのび遊ぶ子ども
- ・ 思いやりのある子ども

日々のお祈りや礼拝堂での礼拝、また、花の日やクリスマスなどの行事を通して神さまと人々に感謝し、すべての人のために祈ります。こうした宗教的環境は、目に見えないものに対する感性を豊かにします。そして聖書のお話を見聞きし、キリスト教の愛の精神に根ざした人と人のつながりの大切さを学んでいきます。つまり、何よりも「自分が愛されている存在」ということを体感し、「愛され大切にされている事実から、人を愛し大切にしていゆくことを学ぶ」ことを目指しています。

2. 本年度の重点目標

自園の教育方針・保育理念を今一度深く心に刻み、園児が園生活の各過程で学ぶべき大切なことを全教職員で計画的に考える。また、教師間の連携のみならず、保護者と連携しながら、今まで以上に園児の個性に応じた教育・保育を実践することのできるように努める。今年度も教師としての質の向上、保育の計画の充実に重点を置く。

3. 評価項目と取組内容

① 【教師としての質の向上】

園の教育方針、保育理念をよく理解し、幼児期にふさわしい指導計画を立て実践する。そして、子ども達一人一人の違いを尊重・把握した上で関わり、保護者とも適切なコミュニケーションを行えるようにする。また、園内研修を行うと共に、園外のオンライン研修などにも参加し自己研鑽する。

② 【「学習の場」「学び」につながる「あそび」の研究】

園の教育方針である、「遊び」を大切な「学習の場」と考え、「遊び」を通して子ども達の創造性や探究心を引き出せるようにする。また、友だちや教師との関わりの中で、一人一人の心の成長を大切にしていく。そして、今ある園の環境をどのように活かせるか、また、コロナ禍での安全かつ幼児の学びにつながる楽しい遊びについて考え、園全体で取り組み実践していきけるようにする。

③ 【教師間の協力・連携と保護者とのコミュニケーション】

園児が園生活の中で安心して自己発揮できるよう、教師は一人一人の性格や育ちを理解し、状況にあった適切な指導や援助を行えるようにする。また、教職員間の共通理解がより一層図れるよう努力をし、立場やキャリアに関係なく、それぞれの持ち味を認め合い、活かし合うことでより質の高い連携を目指す。

コロナ禍で行事開催の制約がある中で、園での子ども達の様子や、個々の成長とその過程を分かりやすく伝える工夫をすると共に、個別の懇談など適時実施し保護者の子どもたちへの思いを知る。

4. 今後取り組む課題

- ・ 教師としての質の向上
- ・ 保育計画の研究と充実
- ・ 教職員間の協力と連携
- ・ 保護者との連携の充実